

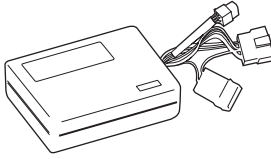
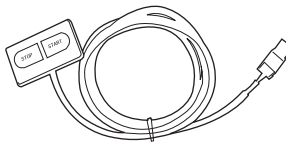
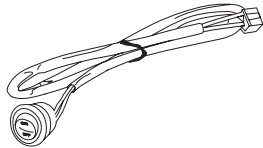
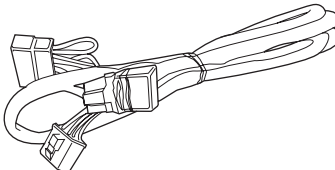
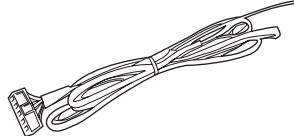

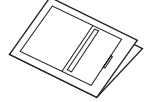

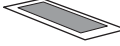
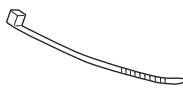
●アイドリング・オートストップシステム

ECOSTARTER

取付説明書・取扱説明書

この説明書に沿って、正しく取り付けを行うようお願い致します。

●構成部品

①本体装置ユニット：1個 	②手動スイッチ：1個 	③メインスイッチ：1個 	
④中継・メインハーネス：1本 	⑤制御ハーネス：1本 	⑥保証書シール：1枚 	
⑦取付・取扱説明書(本紙) 	⑧固定用両面テープ：1枚 	⑨ディップスイッチ カバーステッカー：1枚 	⑩結束バンド：10本 

⚠ 注意事項とお願い

- ・記載事項に従わない取付を行った場合、機能等を阻害するばかりでなく、車両等の不具合につながる恐れがあります。本取付説明に記載の無い配線方法での取付は行わないでください。
- ・記載事項に従わない取付方法、又は使用法等によって発生した不具合につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本商品の改造、分解は行わないでください。また、それによって発生した不具合につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

●安全に関する表示


この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

⚠ 注意、👉 アドバイスのところは、とくにしっかりお読みください。

⚠ 注意 取付け、取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

👉 アドバイス この商品の為に守って頂きたいこと、及び知っているとう便利なことを示しています。

⚠ 取付上の諸注意

<p>●必ず、バッテリーの⊖側ケーブルを外す。 〔ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。〕</p> 	<p>●ランプ・ホーン・ワイパー・オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。 〔取付け後の修復チェックを確実に行う。〕</p> 	<p>●ボルト・ナットの締め付けには、寸法のあった工具を利用して確実にを行う。 〔締め付けトルクの指示がある部位は、規定トルクで締め付ける。〕</p> 
<p>●車両のコネクターを外す際は、リード線を引張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。 〔ハーネス断線を防止する〕</p> 	<p>●コネクターやターミナル・端子は、確実に接続のこと。 〔接続不良を防止する〕</p> 	<p>●ハーネス（配線）配索の際は、車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらさせない。 〔ハーネスの引っかかりや異音発生を防止する。〕</p> 
<p>●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取付ける際は、裏側のハーネスを引っかけたりかみ込んだりしないこと。 〔ハーネス断線を防止する〕</p> 	<p>●車両のワイヤリングハーネスを強く引張らないこと。 〔コネクター外れや断線を防ぐ〕</p> 	<p>●ハーネス配索後、修復前に取付けた部品の作動チェックを行うこと。 〔誤配線の防止〕</p> 

●取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキレバーを確実に引く（踏む）こと。
2. 取付作業中の車はエンジンを停止し、エンジンキーを必ず取外しておいて下さい。
3. 取付作業の前に、必ずバッテリーの（-）側コードを外して下さい。また（-）側コードは（+）側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品点数が取付説明書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておくこと、後の調整がスムーズに行えます。

⚠ 注意

取付完了後は、必ず本紙内のチェックシートに各項目をご記入の上、下記送り先までご送付願います。ご送付頂いた内容は、保証書の控えとして弊社にて保管させていただきますので、必ずご送付ください。尚、ご提出頂いていない商品については、保証書の規約にある保証の対象になりませんので、ご了承ください。

ご送付先： (株)エコ・モーション 商品管理部

FAX：03-3524-0798

●エコスターターとは

エコスターターは、本来エンジンキー操作で行うエンジンの停止及び始動操作を、エンジンキーの代わりに、安全でかつ簡便に運転者の意思をもって行うことの出来る「後付アイドルリングストップ装置」です。

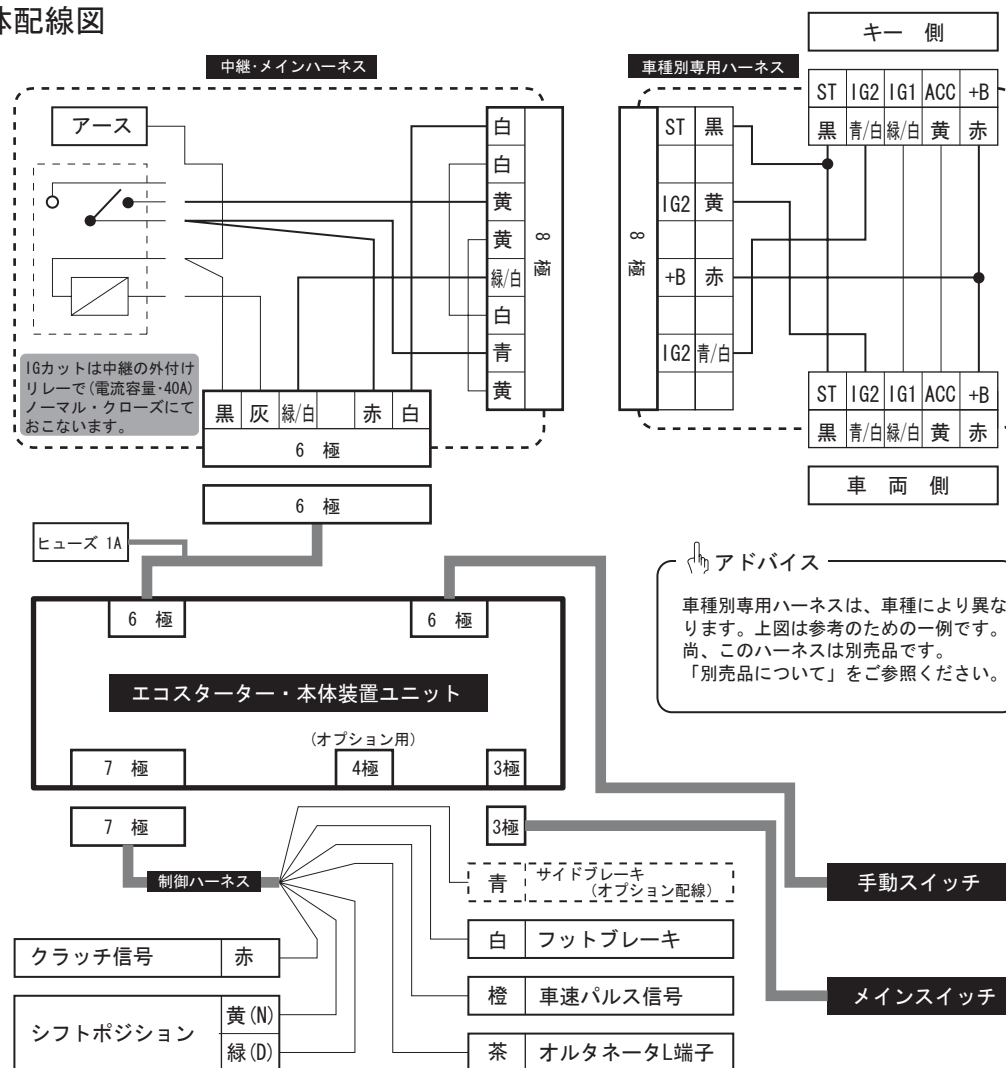
●別売品について

⚠ 下記の部材は、本体標準ユニットには含まれておりません。

車種別専用ハーネス	車両側に本機を接続する際にご利用頂くと、取付けが容易になります。車種によって適応するハーネスが異なります。適応は国産12V車に限ります。
ブレードヒューズ型割込ハーネス	IGN回路が1本だけの車種で、スターター用電源を必要とする場合に使用します。
延長ハーネス	装置の取付位置により、IGN回路接続用の中継・メインハーネスが短い場合に使用します。ショートピンが1本セットになっています。
分岐コネクタ	制御ハーネスと車両側の信号線の結線を簡単・確実に行えます。配線色に合わせた組み合わせをご用意しております。

※ご購入は、各販売店までお問い合わせください。

●全体配線図



●取付前の設定（本体ディップスイッチ）

本商品は、12V/24V、AT車/MT車の全てに対応しております。車種ごとに本体装置ユニット上部のディップスイッチによる設定が必要です。設定に誤りがあると、本機は正しく動作しませんので、下表に従って取付対象に適した設定を行ってください。また、機能の選択・設定もこのディップスイッチで変更することができます。設定終了後、ディップスイッチカバーステッカーをスイッチ窓に貼りつけてください。

◆ディップスイッチ設定表

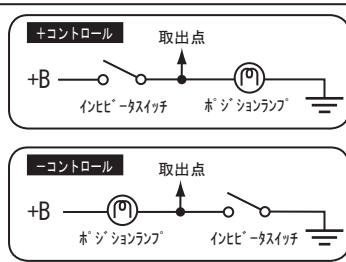


	OFF		ON		説明				
1	12V用		24V用		使用電源の設定				
2	AT		MT		オートマ車／マニュアル車の設定				
3	BR無		BR有		フットブレーキによる再起動操作の有無				
4	OFF	1.5	OFF	2.0	ON	2.5	ON	3.0	エンジン停止条件が揃ってから、停止するまでの遅延時間の設定
5	OFF	秒	ON	秒	OFF	秒	ON	秒	
6	OFF	0.1	OFF	0.2	ON	0.4	ON	0.5	L端子入力が入って（エンジンON）から、スターターが停止するまでの遅延時間の設定
7	OFF	秒	ON	秒	OFF	秒	ON	秒	
8	負論理		正論理		AT/MTの入力論理切り替えの設定。クラッチを踏むと“L”を正論理とする				

👉アドバイス

◎正論理・負論理とは？

ポジションランプと、インヒビータスイッチの接続関係により取出点異なります。信号の意味が逆転します。一般的に、シフトポジションランプは、+コントロール仕様に設定されています。



👉アドバイス

ディップスイッチの初期値は、下図の通りです。

	24V	MT	BR有	停止時間調整	L端子出力時間調整	正論理	
ON	1	2	3	4	5	6	
OFF	7	8	負論理				
	12V	AT	BR有				

●警報音/各種スイッチとそのランプについて

◆警報音について

①アイドリングストップ奨励ブザー

アイドリングストップ操作を実施しないまま、車両が停止してから1分間が経過すると、アイドリングストップを奨励する目的で『びっぴっぴっぴっ…』と、ブザーが鳴り、5秒間で停止します。このブザーは、1分間隔で繰り返されます。

②バッテリー電圧低下警報ブザー

アイドリングストップ中にバッテリーの電圧が低下すると、『びびびびびび…』と早い警報音が連続で鳴ります。この警報が鳴った時は、本機の使用を中止するか、エンジンを再始動して下さい。エンジンを再始動すると警報音が止まります。また、バッテリーの能力が低下している可能性が有りますので点検を行ってください。

③車速異常検知ブザー

走行中に車速信号線の接続等に異常があった場合、『びびびっ びびびつ びびびっ』と断続した警報音が鳴ります。この警報が鳴った時は、メインスイッチを切り本機の使用を中止し、車速信号配線の点検を行ってください。

◆各種スイッチとそのランプについて

①メインスイッチ

本機の始動スイッチです。『ON』にするとスイッチ上のLEDが緑色に点灯します。通常は常時『ON』でご使用下さい。本機の使用を中止する時は、スイッチを『OFF』にしてください。

②手動スイッチ

本機作動中は『START枠』が常に青色に点灯しています。エンジン停止中に、『STOP枠』が橙色に点灯し、再始動で消灯します。

●取付作業手順

エコスターターは、『全体配線』の項で図示されている通り、『7極側』で車両側の各信号を受け、その状態を検知し、シフトレバー等の操作を行うことで、反対に位置する『中継・メインハーネス』を通じて、車両側の電源回路を制御し、エンジンの自動停止・再始動を実現しています。

1. 電源回路への接続（中継・メインハーネス側）

～ 車両側IGN回路配線とエコスターター配線の接合 ～

8極オスコネクタ	緑/白	バッテリー電源（常時 ON）
	黄	アクセサリ電源（IN・キー側から）
	黄	アクセサリ電源（OUT・車両側へ）
	白	IG1（IN・キー側から）
	白	IG1（OUT・車両側へ）
	青	IG2（IN・キー側から装着側へ）
	黄	IG2（OUT・装着側からキー側へ）
	白	スターター回路へ

6極メスコネクタ	灰	IGN回路リレーの電源
	赤	エコスターター電源
	緑/白	バッテリー電源（常時 ON）
	白	スターター電源OUT（スターター回路へ割込み）
	黒	車両アース

◆車種別専用ハーネス（別売）を使用する場合

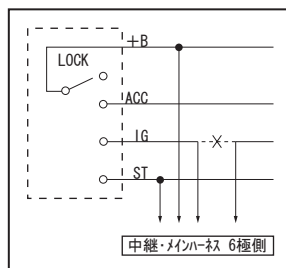
- ①キーシリンダー周りのカバーを外し、キーシリンダーのコネクタ配線を確認してください。
- ②キーシリンダーと車両側をつないでいるコネクタを外し、車種別専用ハーネスをコネクタの間に割り込ませます。
- ③車種別専用ハーネスの8極と中継ハーネスの8極側を接続します。
- ④本体装置ユニットを設置し、中継ハーネスを車両ハーネス等に沿わせながら本体装置ユニットの6極側と接続します。
- ⑤アース端子を車両のボルトに共締めします。
- ⑥結束バンドでハーネスを固定します。

アドバイス

予め本体装置ユニットの取付位置を確認し、配索を行ってください。

◆専用ハーネスを使用しない場合

- ①中継・メインハーネスの8極側コネクタを外します。
- ②中継・メインハーネス側の青線をキー側のIGへ接続。
- ③中継・メインハーネス側の黄線を車両側のIGへ接続。
- ④+Bラインの被服を剥がし、中継・メインハーネス側の緑/白線を接続します。
- ⑤STラインの被服を剥がし、中継・メインハーネス側の白線を接続します。



注意

配線は、確実に行ってください。

結線部は、ショート防止の為に必ず絶縁処理を施してください。

2. 各種信号の取出し（制御ハーネス側）

制御ハーネスを、図中↓に従い車両側各所に接続してください。各種信号を本機に供給します。この際、結線を確認して頂く為に、『分岐コネクタ（別売）』をご使用頂く事をお薦めします。

①オルタネーター L 端子

一般的には、メーターパネルの中のCHGランプへの配線から取出せます。



注意

茶線ヘテスターの+側を接続し、エンジン始動前『0V』、エンジンを始動して12V以上の電圧が発生すればOKです。

②車速パルス信号

スピードメーター裏や、ECUへ接続されています。カーナビ装着で使用される一般的な信号線です。

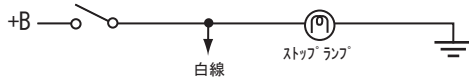


注意

結線が終わったら、橙線ヘテスターの+端子を付け、車両をゆっくり動かしてください。テスターが『0V→5V→0V・・・』と繰返し表示すれば正常です。非常に大切な配線ですので、確実に結線してください。

③フットブレーキ信号

ブレーキランプの信号線に接続、エンジンの停止/起動条件になります。

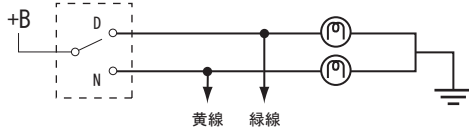


⚠ 注意

フットブレーキを踏んだ時に【H】になる信号線に接続してください。

④シフトポジション (AT車)

インヒビータスイッチ・メーターパネルにポジションランプがあれば、メーターパネルから取出せます。



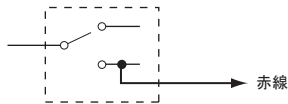
⚠ 注意

キーを『ON』にして、黄線へテスターのプラス端子を接続し、シフトレバーを『N』に入れた状態でバッテリー電圧が有ればOKです。緑線も同様にテスターを接続しシフトレバーを『D』へシフトした時に電圧が有ればOKです。

※AT車/MT車共通マニュアル操作の場合は、黄線をアースに接続し、緑線は未接続とし、テープで絶縁処理してください。

⑤クラッチ信号 (MT車)

排気ブレーキ装着車は、クラッチペダルを踏まないで【H】踏んで【L】となり、『正論理』です。スターター回路に使用されているクラッチスイッチは、クラッチペダルを踏んで【H】踏まないで【L】となり、『負論理』です。



⚠ 注意

キーを『ON』にして、クラッチスイッチの出口側でペダルを踏んでいない時に信号を取り、その電圧の有無で、『正論理・負論理』の判断をしてください。踏まない時に電圧が【H】なら『正論理』です。踏まない時に電圧が【L】の場合、ディップスイッチ8番を『負論理』に設定してください。

⑥サイド (パーキング) ブレーキ (オプション)

一般的にコンビネーションメータから取出せます。取出せない場合はサイド (パーキング) ブレーキから直接取出してください。



⚠ 注意

サイド (パーキング) ブレーキを引いた状態で、【L】に落ちる事を確認してください。

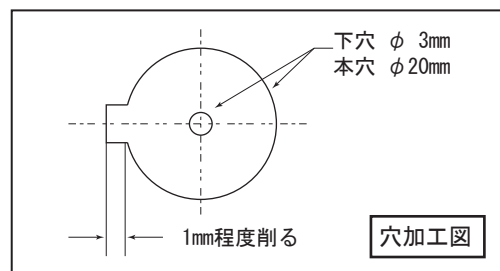
安全性を高める為、サイドブレーキから信号を取出した場合、停止・起動条件に含まれます。

※当オプションを使用しない場合は、青線の端末をテープで絶縁処理し、ボディ等に接触しないようにして下さい。

3. メインスイッチの取付

本機をOFFする為のスイッチです。操作しやすい場所に取付けてください。

- ①任意の場所にメインスイッチ取付け穴を右の図に従って穴を開ける。
- ②ハーネスを加工穴に通し、LEDが上側になるように嵌め込みます。
- ③本体ユニットの3極のコネクタへ接続します。



4. 手動スイッチの取付

本機は、車両の状態を検知し、シフトレバー等の操作により、自動的にエンジンの停止・起動を行うほかに、『手動スイッチ』による停止・起動も行えます。

👉 アドバイス

両面テープを貼り付ける際には、貼付面の油やホコリなどを十分に取り除いてください。

- ①他の設備の妨げにならない場所を選び、両面テープで貼り付けます。
- ②コネクタを、本体ユニットの6極 (小) の受側へ接続します。
- ③各部件の取付け終了後、ハーネスを運転や他の設備の妨げにならないようにハーネスを引き回し、結束バンドで固定します。

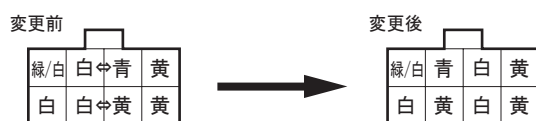
●取付後の動作確認

本機を取付後、安全に動作する事を下表に従ってご確認ください。正常に動作しない場合は、配線及びディップスイッチの設定が正しく行われているかを再度ご確認ください。尚、動作確認は必ず暖機運転を行ってから実施してください。

	操作パターン	エンジン動作	動作条件	手動スイッチLED	
				START(青)	STOP(橙)
シフトレバー操作(AT)	1 シフトレバー	停止	【車速 0 Km/h】 【フットブレーキ ON】 + 【シフト D→N】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯	点灯
		再始動	【フットブレーキ ON】 【サイドブレーキ ON -オプション-】 + 【シフト D→N】	点灯	消灯
	2 手動スイッチ	停止	【車速 0 Km/h】 【フットブレーキ ON】 + 【STOPボタン】 【シフト N位置以外】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯	点灯
		再始動	【フットブレーキ ON】 【シフト N位置】 + 【STARTボタン】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯	消灯
	3 フットブレーキ(オプション)	再始動	【フットブレーキ ON】 【シフト N位置】 + 【フットブレーキ】 【サイドブレーキ ON -オプション-】 + 【踏みなおし】	点灯	消灯
	クラッチペダル操作(MT)	1 クラッチ	停止	【車速 0 Km/h】 【フットブレーキ ON】 + 【クラッチを繋ぐ】 【シフト N位置】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯
再始動			【フットブレーキ ON】 【シフト N位置】 + 【クラッチを切る】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯	消灯
2 手動スイッチ		停止	【車速 0 Km/h】 【フットブレーキ ON】 + 【STOPボタン】 【シフト N位置】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯	点灯
		再始動	【フットブレーキ ON】 【シフト N位置】 + 【STARTボタン】 【サイドブレーキ ON -オプション-】	点灯	消灯
マニュアル操作	1 手動スイッチ	停止	《AT車/MT車》 → 手動スイッチ操作・停止に同じ	点灯	点灯
		再始動	《AT車/MT車》 → 手動スイッチ操作・再始動に同じ	点灯	点灯
	2 フットブレーキ	再始動	《AT車》 → フットブレーキ操作・再起動に同じ 《MT車》 → 【フットブレーキ ON】 【サイドブレーキ ON】 + 【フットブレーキ】 【シフト N位置 又は クラッチを切る】 + 【踏みなおし】	点灯	点灯

◆上表の操作でエンジンが正しく停止しない場合は、『中継・メインハーネス』の8極コネクタの『白⇄青』と『白⇄黄』の端子位置を変更して下さい。

～ コネクタを勘合側から見た図 ～



⚠ 注意

MT車の再始動時は、クラッチを底まで踏み込み、確実に切ってください。半クラ状態で再始動すると危険です。

●取付チェックシート

以下のチェックシートに従い、本機の動作の最終確認を行い、必要事項をご記入の上、弊社までご返送ください。この書類が弊社側の保証書の控えになりますので、必ずご返送ください。

きりとり

お客様名称		型式		取付タイプ	AT ・ MT ・ マニュアル
車両名称		商品管理番号	1ST-003-		
登録車両ナンバー		装置取付年月日	年	月	日

◆チェック項目

チェック

事前確認	セルモーター	セルモーターの動作に異常が無いことを確認		
	バッテリー	バッテリーの状態を確認		
	車両電装品	既存の機器・装備が正常に動作するか確認		
信号線出力確認	オルタネータ・L端子	エンジンOFFの時【L】、エンジンONの時【H】出力		
	車速信号	車輪回転でデジタルパルス波形がきちんと得られる		
	AT・シフトポジション『N』※1	シフトレバー『N』位置で【H】出力（【L】の時は負論理）※2		
	AT・シフトポジション『D』	シフトレバー『D』位置で【H】出力（【L】の時は負論理）※2		
	MT・クラッチ信号	クラッチを踏んで【L】出力（【H】の時は負論理）※2		
	フットブレーキ信号	フットブレーキを踏んで【H】出力		
	サイドブレーキ信号	サイドブレーキを引いて（踏んで）【L】出力		
※1 … 『マニュアル』の場合は、【L】に接続し、ディップスイッチの8番を『ON』に設定してください。 ※2 … AT・MTで（ ）内の信号が出力されている場合、ディップスイッチの8番を『OFF』に設定してください。				
装着後の動作確認	停止	AT	フットブレーキを踏み、シフトを『D』→『N』に入れて、約3秒後にエンジンが停止する	
			車両停止中に手動スイッチの『STOPボタン』を押してエンジンが停止する（『N』位置以外）	
		MT	車両停止後にクラッチペダルを戻して、約3秒後にエンジンが停止する	
			車両停止中にクラッチペダルを踏んだ状態で『STOPボタン』を押すとエンジンが停止する	
	マニュアル	車両停止中に『STOPボタン』を押すとエンジンが停止する		
	起動	AT	フットブレーキを踏みなおしてエンジンが再始動する（シフト『N』位置）	
			シフトレバーを（N）→『D』→『N』と動かしてエンジンが再始動する	
			『STARTボタン』を押してエンジンが始動する（シフト『N』位置）	
		MT	クラッチペダルを踏んで、エンジンが再始動する	
			『STARTボタン』を押してエンジンが再始動する	
			マニュアル	フットブレーキを踏みなおしてエンジンが再始動する
	『STARTボタン』を押してエンジンが再始動する			
車速信号の確認	走行中、1分以上経過しても『アイドリングストップ奨励ブザー』が鳴らない			
	車両停止後、停止操作をせず、フットブレーキを踏み、サイドブレーキを引いた状態で1分後に奨励ブザーが鳴る			
装着後の車両確認	取付部品のハーネス等が、ペダル、ステアリング等の可動部分に干渉せず、運転に支障がない事を確認			
	既存機器、設備が正常に作動することを確認			

このページは、取付事業所用の控えとして切り取られます。

上記のとおり、装置の取付が確実に完了し、安全に動作したことを報告します。

平成 年 月 日

社名
(取付事業所)

住所

社印

※返送先は本紙 第1頁をご覧ください。

●取扱説明

◆ご使用時のお願い

- ・必ず暖機運転を行ってからアイドリングストップの操作を行ってください。
- ・装着は、弊社登録事業所でお願い致します。
- ・誤った装着方法による事故、故障、誤動作、不具合、あるいはその他の障害によって本来の機能が行われなかった付随的な保証や、損害賠償等の経済的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・長時間のエンジン停止や運転席から離れる時は、必ず通常操作のキースイッチでエンジン停止をしてください。
- ・アイドリングストップ、再始動操作を行う時は、ゆっくりと余裕をもって操作してください。
- ・車両が停止してから1分間が経過すると『びびびびっ…』と、ブザーが鳴ります。これはアイドリングストップを奨励するものです。5秒間で一度停止し、1分間隔で繰り返されます。
- ・最終ページに保証書が付いておりますので、大切に保管してください。

⚠ 注意

- ・車両を点検・整備する時には、システムが動作しないよう本機のメインスイッチを『OFF』にしてください。緑色のLEDランプが消灯します。
- ・エンジンが停止した状態で、下り坂での慣行走行は絶対にしないでください。エンジン停止中は、ブレーキの効きが著しく低下します。
- ・本機はバッテリーの電圧低下警告ブザーを内蔵しており、アイドリングストップ中にバッテリー電圧低下警告ブザー（早い断続音「びびびびっ…」）が出た時は、エンジンを再始動させるか、本機の使用を中止してください。度々警告ブザーが鳴る場合は、必ずバッテリーの点検を行ってください。
- ・本機をご使用中、エンジンの再始動ができない場合は、メインスイッチを『OFF』にし、通常のキー操作でエンジンを再始動させてください。
※アイドリングストップ機能が停止し、車両は通常状態に戻ります。
- ・走行中、車速信号に異常があった場合『びびびっ びびびっ びびびっ』と、断続した警報が鳴ります。この場合、速やかにメインスイッチを『OFF』にし、本機の使用を中止してください。再度ご使用頂く前に、取付事業所にて接続の点検を行ってください。

●操作方法

◆マニュアル操作方法

- 1、キースイッチでエンジンを始動してください。（メインスイッチは常時『ON』）
- 2、走行
- 3、車両を完全に停車させ、以下の条件でエンジンを停止します。



- ※AT車は、シフトポジションがどの位置にあっても停止します。
- ※MT車は、必ずクラッチペダルを完全に踏み込んだ状態で操作してください。

- 4、アイドリングストップ後、以下の条件でエンジンを再始動させます。



- ※AT車は、シフトポジションが『N』位置又は、『P』位置でなければ、再始動しません。
- ※MT車は、必ずシフトポジションが『N』、且つ、クラッチペダルを完全に踏み込んだ（切った）状態で操作してください。

※再始動後セルモーターは、自動停止します。

◆シフトレバー（AT）操作方法

1、キースイッチでエンジンを始動してください。（メインスイッチは常時『ON』）

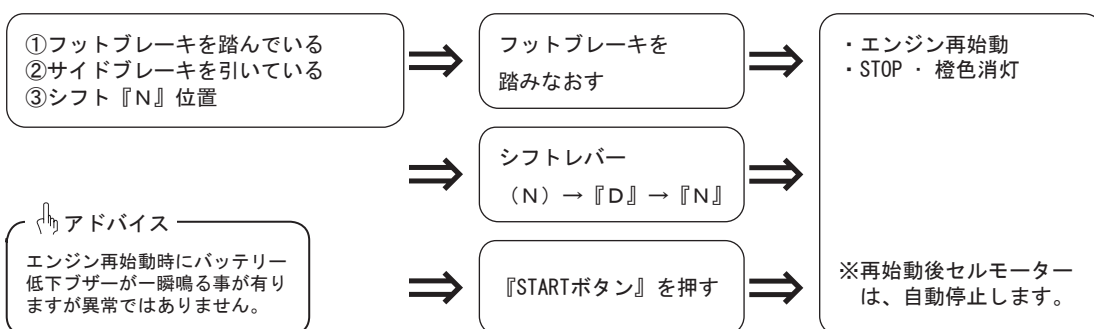
2、シフトレバーを『D』に入れ走行します。

※エンジンスター直後に停止条件が揃った状態で、シフト『N』で、2秒以上待つと、エンジン停止します。

3、車両を完全に停車させ、以下の条件でエンジンを停止します。



4、アイドリングストップ後、以下の条件でエンジンを再始動させます。

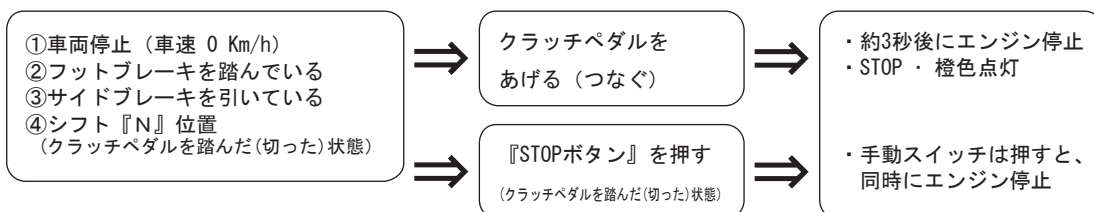


◆クラッチペダル（MT）操作方法

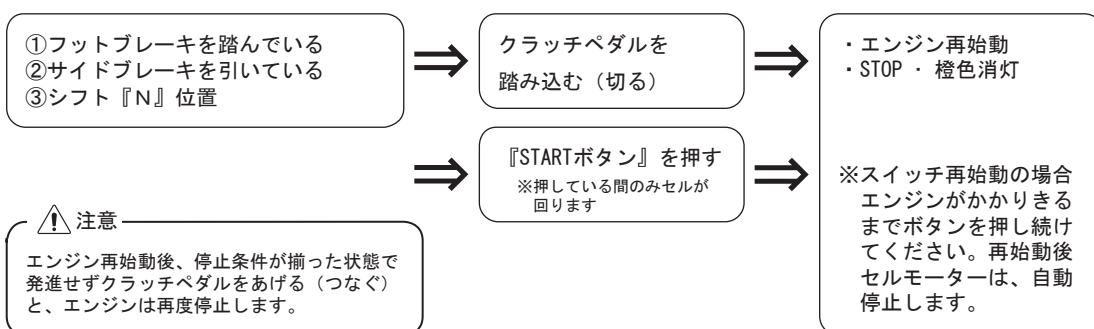
1、キースイッチでエンジンを始動してください。（メインスイッチは常時『ON』）

2、走行

3、車両を完全に停車させ、以下の条件でエンジンを停止します。



4、アイドリングストップ後、以下の条件でエンジンを再始動させます。



●もう一度ご確認ください

本機をご利用になる前に、もう一度以下をご確認頂き、安全にご利用ください。

- ・ご利用前に、本機の操作方法をしっかりと覚えてください。
- ・停止及び再始動条件を確実に把握してください。
- ・本製品は、湿気が極端に多い所や、雨・雪などの水分に触れる場所での使用・保管は避けてください。
- ・走行中に異常を感じた場合は、速やかにメインスイッチを切り、本機の使用を中止してください。
- ・アイドリングストップ操作を行う際は、ブレーキを踏み、サイドブレーキを引いてください。
- ・車検・点検整備・修理等に出す場合は、必ずメインスイッチを切ってからお出し下さい。
- ・エアバッグや、インダッシュテレビなどの付近には設置しないでください。
- ・分解・改造は絶対に行わないでください。
- ・万が一異常が生じた場合は、直ちに本機の使用を中止し、メーカー又は購入店にご連絡ください。

●保証内容

本商品は厳密な品質管理と検査の上お届けしておりますが、万一お買い上げ頂いた後、保障期間内に正常なご使用状態で、不具合が生じた場合、点検・調査の上、下記条件により保証させていただきます。

1. 下記の「保証対象」「保証期間」に従って、無償で「新品」と交換させていただきます
 - ①製造上、あるいは材料上の不具合により使用不能となったもの。
 - ②取扱説明書の注意書に従った正常な操作方法・使用状態で保障期間内に故障した場合。
2. 保障期間

保障期間は、お買い上げ日より起算した使用期間、1年間（本体装置ユニット）とします。
3. 適用除外・・・保障期間内であっても下記の場合は保証されません
 - ①保証書が無い場合、又は装置取付チェックシートの提出のないもの。
 - ②使用上、保管上の誤り、又は改造や不当な修理による故障や損傷。
 - ③お買い上げ後の落下や水没などによる損傷。
 - ④火災、地震、落雷、水害等による損傷。その他、天災地変による故障や損傷。
 - ⑤自動車事故による破損、故障、機能低下の場合。
 - ⑥保証書記載以外の車両に装着しなおした場合。
 - ⑦本商品を不適合車両に装着した場合
 - ⑧弊社登録事業所以外で装着した場合。

保証書

※ 本書は再発行致しませんので、大切に保管してください

品名	エコスターター	商品管理番号	IST-003-		ご購入日
保証対象	本体装置ユニット	保証期間（1年）			年 月 日
(お客様) お名前			電話	()	—
住所					
(販売店) 店名			電話	()	—
住所					
(装着工場) 店名			電話	()	—
住所					印

[製造・発売元]



ECOMOTION

株式会社 エコ・モーション

〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-1003
TEL.03-3524-0777 FAX.03-3524-0798
<http://www.ecomotion.co.jp>